

オリーブの会通信

مجموعة الزيتون

2021年9月10日第10号(通巻16号)
オリーブの会
大阪府豊能郡能勢町平通101-453
tel/fax;072-737-9454
mail; olivenokai_zeytun@yahoo.co.jp
facebook;oribunokai



タリバンの権力獲得と中東、パレスチナ

カブール空港から撤退する米軍機

米欧帝国主義軍の 20 年の支配の終わり

米国は、8月30日をもって、アフガニスタンから撤退し、タリバンが再び権力を握った。9・11以降、反テロ戦争の地として、アフガンとイラクを選び、軍事侵攻を行った。そして、その戦闘には NATO 軍も参加、日本も後方支援を行った。アルカイダなどのテロリストを保護しているとして、タリバン政権を軍事力で打倒し、アフガンに傀儡政権をつくり、西欧式の民主主義を課した。ベトナムでのサイゴン陥落を思い起こさせる米軍の撤退であった。米国が成果としてあげたウサマ・ビンラディンの殺害はパキスタンで行われた。

傀儡政権は、30万人の部隊と近代兵器をもちながら、6万のタリバンに一挙に制圧された。そして、その大統領は、国外に逃げ出した。霧散した国軍の近代的装備はタリバンの手に落ちた。唯一マスードの息子が率いる北部同盟が抵抗しているが、タリバンに対して対抗できるかどうかは、不明である。西欧の支援を求めれば、崩壊した傀儡政権の二の舞になる。アフガニスタンの民衆の支持を獲得できるかである。

バイデンは、米国軍の任務は、アルカイダのウサマ・ビン・ラディンを殺害したことで終わっているとし、アフガンの国づくりは、任務ではなかったと言いつつ、

これには、多国籍軍としてかかわった諸国からも反発を受けている。

20年の戦争を行ってきたにもかかわらず、余りにも、無責任極まりない。イラクでも、同様に、多国籍軍による Saddam 政権の打倒は、内戦を導き、弱体な傀儡イラク政権のもとで、ISIS が生まれてしまった。

中東での米国の影響力は、これまで以上低下することになった。ロシア、中国はその影響力をつよめるために、タリバンに接近している。

パレスチナでは、ハマスが祝辞を送った。占領軍と傀儡を打ち破ったハマスの闘いに自分たちの闘いを映しているのかもしれない。タリバンの報道官は、ハマスとの関係を否定した。これは、アメリカとの合意でテロリストと関係しないということを受けたものかもしれない。勢力の均衡という点でも、米帝の影響力の後退と、周辺国家である中国、ロシア、イランが影響力を拡大していく。中東全体にも影響する可能性がある。

イスラエルとイランの攻防

イランとイスラエルの攻防が激化している。

イスラエルにとって、最大の脅威は、イランが核兵器

オリーブの会通信 第10号(通巻16号)

を保持することである。イスラエルは、これまで、中東での唯一の核保有国としての地位を保つために、中東で核保有をしようと、イラク、シリアなどを直接攻撃して、核保有を阻止してきた。

イランにも、科学者の暗殺や核施設の破壊などを秘密作戦として行ってきた。しかし、トランプが登場するまでは、米国はイランとの核合意を目指す欧州と同じ立場をとり、イスラエルの軍事作戦を抑え込んできた。しかし、トランプ政権の下で、米国がイランとの核合意から離脱し、イランへの強硬姿勢に転じた。イスラエルに好都合な条件ができたが、イランは、イスラエルの挑発にのることを避けた。しかし、米国の仲介によるイスラエルの湾岸諸国との正常化(アブラハム合意)で、アラビア湾へのイスラエル進出を許している。

バイデン政権になって、トランプ政権の政策を転換し、イランとの核合意にもどることを決め、旧来の米国の政策にもどった。しかし、イランの大統領選挙で、対米強硬派のエブラーヒーム・ライシーが当選した。

イスラエルのレバノン、シリアへの攻撃

イスラエルは海上でのイランへの攻撃、核施設へのサボタージュだけでなく、レバノン、シリアへの爆撃を続けている。口実は、ヒズボラとイランの施設への攻撃ということを繰り返し、空爆、ロケット攻撃を行っている。米国は、基本的なこうしたイスラエルの侵略行為を擁護している。

ネタニヤフとトランプ政権が進めようとしたイスラエルの下での平和は、否定しているかは、わからないが、イランを核合意でおさえて、中東の安定を図ろうとしていると思われる。

イスラエルの民族浄化とバイデン政権

エルサレムのシェクジャラ、シリワンなどの住民の立ち退きに対して、それをイスラエルの裁判所が凍結する

判断を下した。

これは、エルサレムの剣作戦で、ガザからのロケット攻撃だけでなく、48年領内を含むパレスチナ全体の怒りが爆発した結果としてある。

イスラエルは、ハマスなどとの停戦を行っただけでなく、自治政府をとりこむ懐柔策にで、パレスチナ自治政府を支援し、ハマスの影響力を弱めようとしている。

また、米国も介入し、イスラエルの政策を抑制した。ヨルダンの支援。ヨルダンが難民としての彼らの居住を補償した。としてイスラエルの言い分を否定した。

ジャバル・サビ入植地の前哨基地を撤去させたが、そこに軍事的宗教的施設の建設の計画は維持され、占領軍と住民の衝突は続いている。

米国は、ベネットの入植地の住宅の建設を縮小させた。バイデン政権は、トランプ政権下でのイスラエルによる西岸併合に反対しているが、入植地そのものを否定していないが、入植地の急速な拡大には反対している。

バイデン政権は、2国家解決方式を支持しているが、イスラエルの現在の政権と世論は、その方向に向いていず、ベネット政権はパレスチナ問題を突きつけられ、分解してしまう。

パレスチナ自治政府は、このバイデン政権にすぎり、交渉の道へ幻想を抱き続けており、それへの批判者を弾圧するなどしており、エルサレム、アルアクサでの民衆の立ち上がりやエルサレムの剣作戦で見せたパレスチナ民衆のパレスチナ全土での立ち上がりを、交渉の道へと抑え込もうとしている。その幻想は、イスラエルに利用され、パレスチナの分裂状態を続けることになる。その先には、パレスチナ解放はない。イスラエル現政権は、明確に、パレスチナとの政治解決はないと明言している。

アフガンでの米国の敗北は、中東での米国の影響力をさらに低下させた。それは、米国に依存しようとしている自治政府を困難にし、ますますイスラエルの言いなりにならざるを得ない。反対にハマスはタリバンの勝利で勢いづいていくだろう





タリバンと勢力均衡

2021年8月17日に投稿 | 20:13 (PFLPのホームページより)

一週間以内に、アフガニスタンの地域はタリバンに次々と急速に落ちました。この記事を書いている時点で、ムーブメントは抵抗なくカブールに入っていました。

この動きは、20年近く前にシフトし始めた国際勢力均衡のシフトの文脈に置き、アメリカ合衆国とそのNATO同盟国に損害を与えました。

1980年のソビエトのアフガニスタン侵攻は、ソビエトが国際舞台での存在を主張する最後の試みであり、政権の老朽化と国の深刻な経済危機に立ち向かうことができなくなった後、救われる可能性のあるものを救おうとする試みでした。ソビエト帝国の棺桶の最後の釘が通り抜けていました。

米国は、ロナルドレーガン大統領の時代に、イスラム過激派を奨励し、指導者を支援し、金と武器を提供し、米国大統領はホワイトハウスで指導者を受け入れ、運動を祝福しました。米国政府とアルカイダを含むイスラム組織との同盟は、ソビエト軍が敗北するまで続いた。ほんの少し後、共産主義体制は全滅し、ソビエト連邦は崩壊し、ロシア連邦に取って代わられた。二極化の時代は終わり、アメリカは国際覇権の王位にある唯一の極です。

アフガニスタンの運命は、前世紀の80年代の終わりに、二極化に基づく国際システムの崩壊の出発点であり、将来の国際システムの多極段階への玄関口でもあったようです。

アフガニスタンは資源に限られ、部族の構造と宗派や民族の多様性を備えた貧しい国ですが、海上境界線はありませんが、中国とロシアに近く、イランとパキスタンとの国境は、国際政治。また、東アジアから西アジアへ、またはその逆のルートを結ぶ戦略的なカイバル峠もあります。したがって、それは常に大国からの関心の対象でした。

ソビエト連邦と米国は、特に冷戦の激化の間に、この国をめぐる覇権を争った。アフガニスタンの最後の王であるシャー・ムハンマド・ザヒルは、イランのシャー

の親友であり、西側の同盟国でした。しかし、1973年7月の彼の支配の打倒と共和党政権の確立は、ソビエトが国で強力な突破口を達成することを可能にし、1980年にアフガニスタンの占領に至りました。

ソビエト連邦の崩壊に伴い、アフガニスタンは主要な部族が参加した連立によって支配されました。1996年、強硬派のイスラム運動「タリバン」がアフガニスタンに侵攻し、唯一の権力を握った。ビル・クリントン大統領の時代、スーダンから追放された後、「タリバン」が「アルカイダ」の指導者であるオサマ・ビンラディンを迎えたとき、運動と米政権の間で論争が激化した。

しかし、2001年9月11日にアルカイダがニューヨークの国際貿易センターのツインタワーを破壊したジョージW. ブッシュ大統領の時代に、事態は急速に悪化しました。米国政府はタリバンの指導者に調査のためにビンラディンを引き渡すよう要請しました。そして9月の事件での彼の役割の裁判でしたが、「タリバン」はアメリカの要求に応じることを拒否しました。

9月の出来事に続いて、ブッシュ政権は、大量破壊兵器を所持し、アルカイダとの想定される関係を確立するという名目で、アフガニスタンの占領、続いてイラクの占領を伴う対テロ世界戦争を宣言した。

アメリカ政府によるすべての約束にもかかわらず、アフガニスタンに近代的な民主主義システムを確立するために、アメリカの占領の経験は、占領者が最高の地位に信者を設置する前任者とその後の占領と変わらなかった。故郷をケースからケースへと移動させるような根本的な改革を行うのではなく、富と権力を蓄積する。

さらに、人々はその性質上、外国の占領を拒否し、それが彼らの尊厳と独立と自己決定の権利への挑戦であると考えています。

近代国家の構築の失敗、そして縁故主義と腐敗の広がり、タリバン運動の新たな復活につながり、それは中国とロシアに有利な国際勢力均衡の不均衡と一致した。その結果の一つは、「タリバン」が前回よりも冷静で合理的な形で出現し、アフガニスタンへの深刻な侵略の意図を持つロシア、中国、パキスタン、イランとのコミュ

ニケーションのチャンネルを開たことでした。
イベントを判断するには時期尚早ですが、歴史が繰り返されることはなく、新しいイベントは過去の再現ではあ

りません。



2021年8月9日に投稿 | 09:02 (PFLPのホームページより)

私たちパレスチナ人とアラブ人が、崩壊し腐敗したアラブ公式政権の多くの国々が、占領権力との正常化ラッシュに反対している時... アルジェリア、スーダン、レバノンからの多くのアラブ人アスリートが正常化と東京2020オリンピックでのイスラエルの選手とのプレーの拒否を表明した。これらの選手は、彼らの名前が正常化に関連付けられることを恐れて、イスラエルの選手と競技しないことで、高い対価を支払うことになった。それは、国際競技連盟の記録から彼らを削除すること、および罰則を課すことから個人レベルで支払う高額にもかかわらず、彼らに罰金を科しましたが、アラブの正常化の体制が彼らの人々から孤立しており、彼らを代表していないことを言うために、彼らは個人的利益と獲得物を犠牲にして名誉ある民族的地位を占めることを選びました。これらの人々は、自発性と愛国心を持って、依然としてパレスチナとエルサレムにつながっている。

現時点では、特にこれらのアラブのアスリートが私たちの人民、私たちの大義、そして私たちのアラブ主義に勝利している時、彼らは、私たちが占領している人々との正常化を支持して、アラブ人民の意識に浸透することを妨害し、「アイロンをかけ」、「押しつぶす」プロセスを実行し、私たちに対する毎日の抑圧と虐待を実践します... そして彼らはシオニストの占領で正常化のプロセスを継続することによって組織と自治政府の指導的地位を維持する次にある人が、自分の家の占領者との「政治的関与」という名目で、組織と自治政府のリーダーであった他の多くの人々組織の幹部のメンバーである彼と

行きました。そしてこの政策、ビジョンと立場は、そのような指導者と彼らの後ろに立つ人々が先立つことができない崩壊と政治的盲目の状態を表現します。

。同様に、この男は、政治活動家のニザール・バナトが暗殺されたことで、パレスチナの街路を緊張させ、「街路対街路」の内部紛争に向かわせようとしてしました... 今日、彼と彼の親友は、彼が平和委員会と呼ぶものに責任があります。イスラエル社会と通信するために、PLOによって形成されたと主張する公式の正規化委員会、その委員会は、何百万シェケルの公的資金を儲けて浪費するための機関にすぎず、シオニストに何の変化ももたらさなかった忠誠心が権利と過激なシオニストの権利に分かれており、いわゆるシオニストの左翼の崩壊、萎縮、衰退を目の当たりにして、パレスチナの人々の権利に敵対している社会... 昨日、火曜日、私たちは目で目撃しました。ラマラの解放機構の本部は、アル・マジダラニとアル・マダニが率いる正規化会議と多くのイスラエルのジャーナリスト... この会議は、エルサレムのパレスチナ人ジャーナリストの抑圧と虐待の激化に対照的に行われます... シェイク・ジャラとシルワン、そして特にベイタ、ベイト・ダジャン、ヨルダン渓谷、東ヘブロンでの占領軍との摩擦点で、諜報機関、占領軍、警察によって... そしてイスラエルのジャーナリストが私たちのジャーナリストの抑圧と虐待に抗議し、彼らがメディアの役割を行使するのを妨げているのを聞いたことがありませんでした... 衛星チャンネルとパレスチナのアルクルテレビを含む地元のラジオ局の閉鎖を含みます... また、彼らは彼らの国と彼らのセキュリティサービスがパレスチナジャーナリストシンジケートと国際ジャーナリスト連盟

が発行した、パレスチナジャーナリストが保有するパレスチナおよび国際プレスカードを認識していないことをよく知っています。

執行委員とコミュニケーション委員会の職員によってとられたこのステップは、パレスチナジャーナリストシンジケート、パレスチナ作家連合、イスラム聖戦、人民戦線によって、それは非難され、占領者への無料サービスと見なすことによってうまく行われた。占領国との関係を正常化している公式のアラブ政権は、直接パレスチナ人の犠牲と闘争に危険な刺し傷を向け、占領者によるパレスチナ人の抑圧と虐待、歴史の強盗、パレスチナの物語の偽造を正当化し、シオニストの物語をサポートする。... 崩壊したアラブの公式システムの国と政権によって占領国との間で行われているあらゆる形態の正常化を非難するとき... したがって、諸勢力と諸党派は彼らの立場を明確に表現し、このステップを踏んだ人々に責任を負わせるために取られるべき実地的な措置のために...

組織を占領者との正常化のためのプラットフォームに変えるのではなく、組織の指導者、当局、一部の勢力と政党、および「達成」組織と機関の一部の職員から正常化

を急ぐ人々は、努力し、努力しなければなりません。その役割と地位を回復し、それを奪い続けて「強奪」するのではなく、その機関と名声への配慮を回復します。「その権力は当局の影響力のある当事者によって認可されています。

私たちパレスチナ人が、プロジェクトや正常化スキームに立ち向かい、それらを阻止し、パレスチナ人とアラブ人の大衆意識の最前線への浸透を防ぐためのロールモデル、モデル、理想の強さでなければならないとき、私たちはそのようなことを発見します。立場と正常化関係は、「占領者との正常化を回避しているため、エミレーツ、モロッコ、バーレーン、スーダン公式のアラブ政権の国々に正当化とカバーを与えるだろう。

したがって、説明責任があり、占領者との正常化を実践するすべての人に対して確固たる措置を講じ、それを公式の権威主義レベルから一般レベルに移そうとし、正常化を犯罪化し、カバーと、それを行う、またはその背後に立ち、それを担当する人々にカバーを提供する人々に対する正当性を取り除く作業を行う必要があります。。



8月30日ガザ、ハーンユニスの東でのナイト・コンヒュージョンの闘い

アブアリ殉教20周年



故アブアリ・ムスタファ書記長

人民戦線は、その書記長アブアリムスタファの殉教を記念し、何千人もの人々が参加する大規模な公開フェスティバルを開催した

2021年8月15日に投稿 | 09:14 (PFLPのホームページより)

パレスチナ解放人民戦線 (PFLP) は、ガザ市のアルド・アル・サラヤで、同志アブ・アリ・ムスタファ書記長の殉教20周年にあたる今夜、土曜日の夜を祝い、大規模な公開祭を開催しました。何千人もの指導者、幹部、前線の要素が参加し、その間に高校で成功した優秀な学生のグループが表彰され、何百人もの解放と帰還「Seif Al-Quds 連隊」パイオニアが卒業しました。

先週木曜日に活動が終了した民族主義勢力およびイスラム勢力の代表者、民族、地域社会および法人、市長および高官、数百人の高校生とその家族、および解放と帰還のパイオニア・キャンプの約1,000人の卒業生が出席しました。大規模なフェスティバル、オーディオビジュアルメディア、印刷物、オーディオの注目に値する存在に加えて。

サラヤの土地は、パレスチナの旗、戦線の旗、そして愛国的で最前線の歌と民族歌の曲に合わせて、戦線の指導者とシンボル、その殉教者とその囚人の写真で飾られていました。

人民戦線の政治局のメンバーであり、ガザの支部を担当しているジャミル・メザーは、同志リーダーであるアフマド・サアダットが率いる英雄的な殉教者と獄中者と西岸、エルサレム、ディアスポラに敬礼することから始まった中央演説を行いました。

メザー司令官はスピーチの中で、同志殉教者アブ・アリ・ムスタファを称賛し、彼はパレスチナ自治政府の闘

争の象徴であり、犠牲に関係なく彼の正義とその勝利の正義を信じ、そのために人生を捧げたと指摘した。

メザーは、殉教者の指導者アブ・アリ・ムスタファが彼の性格を全国的で人民コンセンサスの焦点を形成し、彼は常に大衆に愛着を持っていたと付け加えた。彼は常に祖国と民族闘争の価値観を支持し、平和的な解決策を拒否し、あらゆる形態の分裂と戦いを行い、民族の統一に熱心でしたが、パレスチナの大義を犠牲にすることはなく、当初は労働者階級を支持していました彼が出てきたその胎内の階級は、謙虚さ、誠実さ、革命的な禁欲主義と硬さに満ちた彼の革命的な人格の形成に大きく貢献しました。パレスチナ、その人々とその大義に属しています。彼は、「私たちは、私たちの人々と私たちの権利の侵害に抵抗し、擁護するために戻ってきました、そして私たちは交渉に来ませんでした」と言いました。

彼のスピーチで、メザーは高校の成功した優秀な学生にメッセージを送り、彼らに勝利を続け、彼らの故郷、彼らの権利と彼らの未来のために誠実に働き、そしてパレスチナと殉教者の意志を引き継ぐことを訴えた。

彼は、学生の要求、学問的および社会的問題に対する前線の絶対的な偏見を繰り返し、搾取の方針と無料の教育のための闘争を拒否し、私たちの大学に国の役割を回復し、民営化、商品化、教育の価格設定の方針を放棄するよう求めました。彼は、資本の代理人となった大学の政策に遺憾の意を表明し、大学の市場価格によると、貧しい人々のための場所はありません。貧しい人々の子供たちが学ばなければ、人々の食物を略奪しました。あなたが間違った場所に行くという公的資金と莫大な予算を無駄にするのをやめなさい。」

ることを約束しました

彼の殉教の20周年に：人民戦線はリーダー・アブアリ・ムスタファへの誓約を更新します

2021年8月27日 | 09:36

声明

私たちの忠実なパレスチナ人の息子たちよ：

この日、シオニストの裏切りは、敵が殉教者の行進を終わらせるか、私たちの人々の決意を弱めると考えた犯罪で、ナショナリストの指導者、パレスチナ解放人民戦線の書記長、アブ・アリ・ムスタファを暗殺するために拡大しました。

この記念日に、戦線は闘争と抵抗のアプローチへの順守を確認し、殉教者の指導者が残した目標を達成するための闘争を継続するための契約を更新します。シオニストの敵、避難民の故郷への帰還、彼らの独立の権利、そしてその国土全体にわたって彼らの独立した民主主義国家の構築。

私たちのアラブ諸国の息子たちと私たちの抵抗する人々の大衆：

同志司令官アブ・アリ・ムスタファの殉教の20周年は、シオニストの侵略の継続と私たちの人々、アラブ諸国と地域の国々に対する植民地攻撃、正規化協定で表明されたアラブの反応体制とシオニストの実体、そしてパレスチナ、イエメン、イラク、シリア、レバノンなどに対する攻撃と包囲のツールの協調行動、そして交差点と同盟の空間の拡大と一致します。

侵略の最前線とは対照的に、抵抗の力は多くの軸で確固たる成果を達成し、その意味はパレスチナの土地で強化され、「エルサレムの剣」の戦いは、歴史的なパレスチナ全体の占領に対する対立と衝突、そして正常化を拒否し抵抗を支持するアラブの大衆の声の回復した。

殉教者と犠牲：

パレスチナの政治構造の窮状は、私たちの人々と私たちの大義を枯渇させ続けています。パレスチナの土地での侵略の継続と拡大、抵抗の拡大にもかかわらず、リーダーシップシステムはオプションとしての交渉アプローチとシオニストの敵との合意に準拠しており、私たちの人々とその機関の運命を決定する点で異常です、そして、その最小限の国家的任務を遂行することができず、そして

多くの構造物が私たちの人々に対する抑圧と惨劇の道具であるとさえ言及しています。殉教者の指導者が国の制度を守るための明確な立場と絶え間ない努力、そして敵との戦いにおける私たちの人々の団結の絶え間ない肯定を緊急に思い出させるものは、これらすべての国の価値を無駄にする独占のアプローチとは対照的です。それは殉教者の指導者によって採用され、民主的および国家的闘争で私たちの人々によって擁護されました。

パレスチナの人々とその大義の支持者：

人民戦線は、シオニストの敵とその同盟国との闘いをエスカレートし、包括的な民主的選挙を通じて、パレスチナ解放機構を中心とする民族機関とその主要組織の構造を更新するための民主的闘争をエスカレートすることを勧めます。そして、あなたと殉教者の指導者がアブ・アリ・ムスタファと私たちの人々のすべての殉教者と戦士に、シオニストの敵に立ち向かい、抵抗するという決定を誓ったように、彼らの意見を示し、表明することによって、市民の自由に対する権利の侵害に立ち向かうこととして植民地時代の攻撃は落ちず、侵略の犯罪への対応は、パレスチナの人々、アラブ国家、抵抗勢力、そして世界の自由な人々の団結した闘争に、より強められている。シオニストの敵と侵略者の帝国主義体制、勝利が達成されるまでそしてパレスチナの人々とすべての抑圧された人々の権利を回復する。

殉教者に栄光を。

私たちの人々のための勝利と彼らの民族の闘争の勝利

パレスチナ解放人民戦線

中央情報部

2021年8月27日

ハマスとタリバン

ハニエは、アフガニスタンでの占領の敗北についてタリバンを祝福します

投稿日：2021年8月17日（最終更新日：2021年8月17日）
日時間：06:48

ガザ・マアン-ハマス政治局長イスマーイル・ハニエは今夜、月曜日に電話をかけ、タリバンの政治局長であるムラ・アブドゥル・ガニ・バラダーは、アフガニスタンでの占領の終焉を考慮して、アフガニスタンでのアメリカの占領の敗北を祝福した。土壌は、抑圧のすべての力の終焉への前奏曲であり、そして何よりもそれらの中で。パレスチナの土地のイスラエルによる占領。運動の指導者は、アフガニスタンの団結、力、繁栄を望み、タリバン運動の政治的およびメディアのパフォーマンスを称賛し、このシーンを見ながらパレスチナを満ちた喜びを表明した。

次に、タリバンの政治局の長は、この接触到感謝を表明し、パレスチナとその抑圧された人々に、犠牲を払って今も続けているジハードと勇敢な抵抗の成果として、神が彼らに勝利とエンパワーメントを与えることを望んだ。占領を打ち負かし、私たちの最初のキスであるエルサレムとパレスチナのすべての土地を解放するための道を進み、国と人々にパレスチナの人々を支援するよう呼びかけます。



ハマスの指導者ハニエ

タリバンのスポークスマン：私たちはハマスとの協力ではなく、世界との良好な関係を望んでいます

投稿日：2021年8月18日（最終更新日：2021年8月18日）
日時間：10:13

ベツレヘム-マアン-タリバンがアフガニスタンを支配した後、組織のスポークスマンはヘブライ語のチャンネル（イスラエルの放送局）が行ったインタビューを通じて心強いメッセージを伝え、「人々は恐れて逃げるべきではない。シャリーアの実施は人々が死ぬことを意味しますが、より多くの平和と安定があります。」

Sohail Shaheen は、彼らの計画は人命を損なうことなくアフガニスタンの人々を救うことであると述べた。「なぜ人々が逃げたのかわからない」と彼は続けた。過去に、アメリカ人は20年間戦った。アフガニスタンの人々が望んでいなかったのは職業でした。人々は抑圧ではなく自由を望んでいました。」

カブールに残った最後のユダヤ人であるカブールのユダヤ人を含むアフガニスタンの少数派に対するタリバンの態度について、ソハイルは「最後のユダヤ人を知らない」と述べたが、彼は強調した。国のシーク教徒とヒンズー教徒、そして彼らは彼らの宗教を實踐することができます。」

ハマスとの協力について、スハイルはハマスとの協力を否定し、「ハマスが自由と占領の終焉を祝福すれば、私たちに悪いことは何も無いが、いかなる分野でもハマスと協力しない。」



タリバンのスポークスマン

パレスチナで愛されている歌

ウナディコム (私はあなたに呼びかけます)

私はあなたに呼びかけます
私はあなたに呼びかけます
私はあなたの手握りしめます
そして私はあなたの足の裏の下の地球にキスします
そして私はあなたのために死ぬ準備ができていると言
います
(2x)

そして私はあなたに私の目からの光を与えます
そして、私はあなたに私の心の暖かさを与えます
そして私が生きている災難のために
あなたの災難の一部です

私はあなたに呼びかけます
私はあなたの手握りしめます
そして私はあなたの足の裏の下の地球にキスします
そして私はあなたのために死ぬ準備ができていると言
います
(2x)
故郷で迷子になることはありません
また、私の肩が減ることはありませんでした
(2x)

私はあなたに呼びかけます
私はあなたに呼びかけます
私はあなたの手握りしめます
そして私はあなたの足の裏の下の地球にキスします
そして私はあなたのために死ぬ準備ができていると言
います
(2x)

そして私はあなたに私の目からの光を与えます
そして、私はあなたに私の心の暖かさを与えます
そして私が生きている災難のために
あなたの災難の一部です

私はあなたに呼びかけます
私はあなたの手握りしめます

そして私はあなたの足の裏の下の地球にキスしま
す
そして私はあなたのために死ぬ準備ができている
と言います

(2x)
故郷で迷子になることはありません
また、私の肩が減ることはありませんでした
私は抑圧者の前に立っていました
孤児、服を脱ぎ、裸足

私はあなたに呼びかけます
私はあなたの手握りしめます
そして私はあなたの足の裏の下の地球にキスしま
す
そして私はあなたのために死ぬ準備ができている
と言います
(2x)

手のひらに血を運んだ
しかし、私は旗で下がったことはありません
そして私は草の緑を維持しました
それは私の祖先の墓の上に成長しました

私はあなたに呼びかけます
私はあなたの手握りしめます
そして私はあなたの足の裏の下の地球にキスしま
す
そして私はあなたのために死ぬ準備ができている
と言います
(2x)

私はあなたに呼びかけます ... 私はあなたに呼びか
けます
私はあなたに呼びかけます ... 私はあなたに呼びか
けます



私たちが欲する場合

私たちが天使ではなく、悪が他人の特権ではないことを学ぶとき、私たちは望むなら民衆になります

貧しい人が夕食に何か食べるものを見つけるたびに、聖なる国への感謝の祈りを唱えるのをやめると、私たちは民衆になります。

裁判なしでスルタンの門番とスルタンを嗅ぎ分けることができるとき、私たちは民衆になります

詩人がダンサーのお腹のエロティックな描写を書くとき、私たちは民衆になります

部族が私たちに言ったことを忘れると、私たちは民衆になります。そこでは、個人が細部の重要性を認識します。

作家が「我が国はもっと高くて美しい!」と言わずに星を見上げることができれば、私た

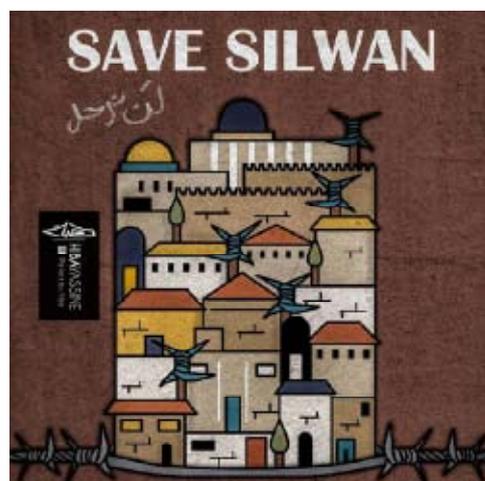
ちは民衆になります。

道徳警察が売春婦を路上で殴られるのを防ぐとき、私たちは民衆になります

パレスチナ人がサッカーのピッチ、ラクダのレース、そしてナクバの日に彼の旗を覚えているだけで、私たちは民衆になります

歌手が混合結婚披露宴でスラト・アル・ラハマンの詩を唱えることを許可されたとき、私たちは望むなら民衆になります

善悪を尊重することで民衆になります





パレスチナ日誌2

7月13日

- ・ 獄中者協会：獄中者ハレッド・ジャラールの釈放に関してポジティブな反応を受け取っていない。
- ・ ガザの人民運動が獄中指導者のハレダ・ジャラールを支援するスタンディングを組織した。
- ・ イスラエル外相：環境は二国家解決を達成することに手を付ける状況にない。
- ・ 占領当局は、ヨルダン溪谷の1500ドナムを自然保護区に変えると発表。
- ・ パレスチナとトルコの農業貿易を振興させるための会議が開催された
- ・ ナブルス・占領軍は、土地を更地にし、農業小屋を破壊した。
- ・ コロナ、一人死亡、99人が感染
- ・ 国際児童防衛：今年の前半期で70人の子供が殺されている。
- ・ エルサレムで、占領当局は、市民に自分の家を解体することを強制。
- ・ ガザ、コロナで一人死亡、82人が感染
- ・ スハ・ジャラールの葬儀が行われた
- ・ ヨーロッパ諸国の大使は、イスラエル米国外務省で開催されるパーティをボイコットした。

7月14日

- ・ イスラエルチャンネル：アブマーゼンは、近くイスラエル大統領と会う。
- ・ ガザの情筋：自治政府の立場は、カタール資金がガザに入るのを妨害する
- ・ UAE が公式にイスラエルに大使館を開いた
- ・ 西岸の逮捕キャンペーンで、若者が負傷
- ・ リクードは、エルサレムに米国外務省が開かれるのを阻止する法案を提出した。
- ・ EU は、イスラエルに家の破壊をやめるように呼び掛け

た。

- ・ 占領軍は、ベイタで大規模な逮捕キャンペーンをはじめた
- ・ エルサレムの北のカランディナ検問所で、イスラエルの警備員が銃撃で負傷した。
- ・ ナブルス南部のプリンで入植者が、150本のオリーブの木を根こそぎにした。
- ・ パレスチナのコロナ、二人死亡、86人の新たな感染者
- ・ イスラエル：野党は、アラブ議員マラアナを外交・安全保障委員に任命したことを攻撃。
- ・ 占領軍は、ラマラの北のビルゼイト大学の学生を何人も逮捕した。

7月15日

- ・ イスラエル：ヒズボラは、一日に3000発のロケットを発射する能力をもっている。
- ・ シリワンの衝突でムスタラビンが3人の若者を逮捕した。
- ・ イスラエル軍は、イランへの攻撃の準備のために、数十億を要求している
- ・ ベツレヘムの南と東で510戸の入植地住宅の計画
- ・ ムスタラビンが叩いたあと3人のエルサレム人を誘拐
- ・ ナブルスの東で、占領軍はため池をつぶした。

7月16日

- ・ 占領軍は、ベイタの市民を逮捕
- ・ 占領軍はガザのフェンスを越えようとした二人のパレスチナ人を逮捕した
- ・ 占領軍は、パレスチナの最大で最も古いカナン人の墓地をブルドーザーで更地にした
- ・ ベイタとベイトダジャンでの占領軍との対峙で、銃撃され、窒息した
- ・ カフル・ドウムの行進の占領軍による弾圧で、窒息による負傷者が出た
- ・ ヒズマで占領当局による入植地道路の非難するデモが行われた。

オリーブの会通信 第10号(通巻16号)

- ・ハマスは、EUの大使をガザに招待した。
- ・占領軍は、レバノン内のドローンを墜落させた発表
- ・占領軍は、ヤバドのまひの3人の青年を逮捕した。
- ・ストラトフォ：医師らエルは、問題となっている新入植地の建設を続けている
- ・ハマスは、アラファトの日にアルアクサに巡礼するように呼び掛けた
- ・サルフィトの西の入植地に反対する活動で占領軍の抑圧で、連帯の人々が負傷し、逮捕された。
- ・ヨルダン：アルアクサへの襲撃の呼びかけは、宗教戦争の宣言である
- ・ジャバル・サビの占領軍との対峙で、負傷者12人のうち、6人が実弾で負傷した。

7月17日

- ・ガザで、一人死亡、63人の新たな感染
- ・占領軍が南部ガザ回廊で農地に向かって発砲した
- ・イスラエルと米国は、対空防衛の分野で共同する合意文書にサインした。
- ・占領当局は、自治政府に経済的ファシリティを提供することを検討している
- ・OCHA：占領当局は、西岸で今年の初めから474のパレスチナ人の建物を破壊した。
- ・米国はパレスチナ難民支援の追加的寄付を発表
- ・ニザール・ベネットの殺害の責任者を明らかにすることを要求するスタンディングが行われた。
- ・ベツレヘム：占領軍は、パレスチナの旗を降ろさなければ、正教クラブのキャンプを撤去させると脅し
- ・占領軍は、シェイクジャラとシリワンの人々を支援するスタンディングを弾圧した。
- ・ヤッファでアラブの青年が撃ち殺された
- ・占領軍は、バブ・アモウドエリアに金属のバリアーを張った

7月18日

- ・占領軍は、ジェニンの西のザボウバ村の青年を、攻撃したのち、逮捕した。
- ・エルサレムで入植者の行進がはじまった
- ・アルアクサから強制的に退去させ、数百人の入植者が押し掛けるを許した
- ・ヨルダンは、公式の抗議をアルアクサへの押し掛けで、イスラエルに送った。
- ・イスラム聖戦、アルアクサで起こったことはテロリズムであり侵略であり、すべてのモスレムに影響する
- ・パレスチナのコロナ感染49人。死者なし
- ・ガザ、コロナ感染者35人、うち34人が重症

7月19日

- ・シタイエ首相：アルアクサで起こっていることは緊急の国際的介入を必要とする侵害である。
- ・ベネットは、恒常的に、入植者のアルアクサへの侵入を確保するように指示している
- ・入植者が、ヘブロンテルルメイダ地区の住民を攻撃
- ・入植者は、ラマラのアルーティラ地区を急襲
- ・占領軍は、入植者の侵入の準備のため、ヘブロン中央を閉鎖した
- ・占領軍と入植者は、アルアクサとエルサレムのアイドの祝賀をさせなかった
- ・ベネットの反応：アルアクサの状況はそのままになる
- ・米国の4分の1のユダヤ人はイスラエルをアパルヘイト国家と考えている。
- ・ガザ、コロナで二人死亡、45人が感染
- ・イスラエルは、アイト・アドハ間西岸の居住者に15万の許可を発行する

7月20日

- ・数千人が、イブラヒミモスクでアイトのお祈りをした
- ・10万人以上の礼拝者が、アルアクサでアイトのお祈りをした
- ・トルコ当局者イスラエルとの関係を回復するときである
- ・イスラエルは、アレppoの郊外のアルサフィラ地区の空から攻撃
- ・100人の入植者がアルアクサを急襲

7月21日

- ・ベネットは、ボイコットした世界的なアイスクリーム会社を反イスラエルと非難
- ・占領軍は、ニリンの町の入り口を閉じた
- ・レバノン国境を挟んで、砲撃の応酬、エスカレートを避けるようにという呼びかけ
- ・イスラエルの会社を通して、イブン・サルマンは、レバノンの大統領とヒズボラをスパイするように依頼
- ・ラファの東に占領軍の機甲化部隊が限定的な侵入を行った。
- ・イスラエルは、西岸とガザで平穏がつづけば、住民の利益になるステップをとる
- ・占領軍は、西岸の各地に検問所を設置し、市民の移動を妨害している。

7月21日

- ・ワシントンは、イスラエルに対するボイコット運動を拒否すること確認し、椅子クリーム会社へのコメントは、抑えた。
- ・アメリカの命令で、ベネットは西岸での入植地建設を凍結した。

- ・イスラエルのメディアは、ワシントンがイスラエルに自治政府を助けるように要求した
- ・フランスは、ペガサスによるジャーナリストへのスパイについて捜査している

- ・イスラエルがレバノンの領空を侵犯した。
- ・エルサレムのアル―マスコピアで房の中で獄中者が死去
- ・オフエル刑務所で、獄中者がコロナに感染
- ・米國務省、エルサレムの領事館を再開することを続ける
- ・アル―ハダールの町で占領軍との衝突が起った

7月22日

- ・レバノン：イスラエルの空爆で、二つのレバノンの町がダメージを受けた
- ・ガザ、コロナで二人死亡、18人の新たな感染者
- ・シリアの対空防衛は、ホモスへのイスラエルの攻撃に対峙した
- ・アメリカの情報筋：イスラエルへの圧力は、予算が承認されていこうになるだろう

7月23日

- ・ガザでコロナで3人死亡、41人の新たな感染者
- ・イスラエル政府は、日曜日にパレスチナ人の労働者に1万5千の許可に増加させることを検討している。
- ・ナブルス南部で、青年が負傷し、他の三人が家で逮捕された
- ・アルジェリアの柔道家は、イスラエルと試合をすることを避けるためと京オリンピックを辞退した。
- ・占領刑務所当局、西岸の住民の面会は条件付きで、一度だけ許可する。
- ・月新月社によると、ジャバル・サビの衝突で、実弾での9人を含む146人が負傷したと発表した。
- ・イスラエル航空機が、レバノンの領空を侵犯した。
- ・自治政府は、ニザール・パナトの殺害について陳謝した。
- ・カフル・カッダムのデモの弾圧で、窒息者が多数

- ・ナビサレの村で、占領軍に撃たれた少年が死亡
- ・ベイタの衝突で二台救急者が攻撃され、320人が負傷した。

7月24日

- ・米国は、イランの革命防衛隊にカタールが財政援助していることを調査している。
- ・占領軍はアイド間26人のパレスチナ人を逮捕した。
- ・民主戦線：経済的な解決は、我が民衆の完全な権利を補償しない・
- ・北部西岸で占領軍が、3人のパレスチナ人を負傷させ、逮捕した。
- ・ツバスの東の衝突で3人が銃弾で負傷した。
- ・占領自治体は、エルサレム人に自分の手で家を破壊するように強制した
- ・ガザのコロナ、一人死亡、37人の新たな感染者

7月25日

- ・占領軍は、ガザに入る24の燃料トラックを妨害することを決定した。
- ・パレスチナコロナで2人死亡、57人の新たな感染者
- ・治安部隊による市民アブザイド殺害は、ガザで議論を呼んでいる。
- ・ガザでのコロナ 一人死亡、37人が感染
- ・アダメール：アブザイヤドの殺害の真摯な調査を呼びかけ
- ・占領軍は、アサモウの配電ネットワークの改善を妨害し、機材を押収した
- ・イスラエルは、ガザ回廊の操業領域を減らすと発表した。
- ・ヘブロン南東で、入植者が新たな前哨基地の建設を開始した。

7月26日

- ・風船火災がガザに戻ってきた



8月30日ガザ、ハーンユニスでのナイト・コンピュージョンのたたかい

その他のトピック

それらのほとんどはエルサレムからのものです： 占領は今年の初め以来 130 人のパレスチナの女性 を逮捕しました

ラマッラー、2021年8月29日 Wafa- パレスチナの獄中者および元獄中者問題局は、イスラエルの占領軍が今年の初めから今日まで130人の女性を逮捕したと述べ、その大部分はエルサレム出身であり、過去1年間に記録されたもので、その間に128人の逮捕が記録されました。

妊娠中のパレスチナ人囚人が彼女を釈放するための 国際介入を訴える



2021年8月27日ブログ、ニュース、スライダー

26歳のAnharal-Deekは、イスラエルの拘留中に帝王切開で出産する予定です。(写真：ソーシャルメディア経由)

妊娠9ヶ月のパレスチナ人アンハル・アルディークは、彼女をイスラエルの刑務所から釈放するための国際的介入を訴え、彼女は自分の赤ちゃんを家に連れて行くことができるようにした。

ラマッラーの西にあるカフルニマの町に住む26歳のアルディークは、彼女の家族に手紙を送り、彼女の自由を確保するために国際社会に呼びかけるよう促しました。「あなたから遠く離れて出産したらどうすればいいですか？私は拘束されていますが、私が刑務所に一人にいるときに帝王切開で出産するにはどうすればよいですか？」アンハールは家族に宛てた手紙の中で次のように書いています。「私は疲れ果てており、刑務所のベッド

で寝ているために骨盤に激しい痛みがあり、足に激しい痛みがありました。出産後、どうやって寝ればいいのか分からない」と語った。

「手術後の最初の一步をどのように受けたのか、そして監視員がどのように私の手を嫌悪感を持っているのか。」

「イスラエルの刑務所行政は、息子と私を孤立させたいと思っています」と彼女は警告した。

アンハールは、違法な入植地の前哨基地の近くで刺し傷攻撃を試みた罪で5か月間投獄されましたが、彼女に対する評決はまだ出されていません。

イスラエルの刑務所当局は、彼女の夫が逮捕されてから一度だけ彼女を訪ねることを許可した。

アンハールの母親、アイシャ・アルディークはアナドルに、娘は困難な心理状態にあり、出生時の彼女の人生には本当の恐怖があると語った。

アンハールはうつ病と診断されており、赤ちゃんが不機嫌で汚い状態で出産していることに悩まされていると彼女は付け加えた。

「私たちはすべての有能な人権と公的機関、執政官、大使館に連絡を取りました。アンハールが自分の赤ちゃんを刑務所の外に出産できるようにする以外に何も望んでいません」とアンハールの母親は言いました。

(MEMO、PG、ソーシャルメディア)

ユニセフ：イスラエルは2か月で9人の子供を殺し、 556人を負傷させた

公開日：2021年8月27日(最終更新日：2021年8月27日 時間：15:20)

ワシントン—一緒に—国連児童基金(UNICEF)は、イスラエルが今年の5月7日から7月31日までに9人のパレスチナ人の子供を殺し、実弾とゴム弾を使って556人の子供を負傷させ、少なくとも170人のパレスチナ人の子供を逮捕したと述べた。同じ期間、占領下のエルサレムで。

ユニセフは昨日発表された報告書の中で、予算が大幅に不足しているため、パレスチナの子供たちを支援するための活動を再開できないと警告し、最近のガザ地区での戦争中に、イスラエルは116の私立幼稚園を標的にしました。41のUNRWA学校に加えて、140の公立学校の建物が被害を受けた。

パレスチナ第2号の人道状況に関するユニセフ報告書—2021年1月1日半ば—2021年7月31日、昨日発表された、2021年7月31日現在、345,702件のCOVID-19の確定症例があり、そのうち50%が女性で12人が18歳未満の子供の割合。

おいしいパレスチナ



これは、パレスチナと中東で家族のお気に入りです。シンプルで栄養価の高い食事は、夏は新鮮な食材を使って、冬は冷凍豆と缶詰のトマトを使って調理できます。免疫力を高めるビタミンやミネラルが豊富に含まれています。

材料 (4人分)

- ・250gの冷凍インゲン (または入手可能な場合は新鮮な豆)
- ・中玉ねぎ1個
- ・にんにく3片
- ・オリーブオイル大さじ5
- ・刻んだトマトの缶 (または100gのトマトピューレと一握りの新鮮な砕いたトマト)
- ・塩とコショウ
- ・750mlのお湯

方法

オリーブオイルを厚手の鍋に入れ、玉ねぎのみじん切りを加え、中火で5分間黄金色になるまでかき混ぜます。にんにくを加えて1分ほどかき混ぜます。豆を加え、さらに3分間かき混ぜます。ピューレトマトを加え、2分間かき混ぜます。次に、一握りの砕いたトマトまたは高品質のイタリアントマトの缶全体を追加します (ピューレではありません)。塩こしょうを少しかき混ぜて加えます。750mlのお湯を追加します。

豆が柔らかくなり、トマトが調理されるまで、15~20分間調理します。少し乾いたらお湯を少し加えます。

ご飯と一緒に召し上がりください。サーテン!

守ろう!オリーブの木を カンバのお願い



オリーブ畑再生基金の目的

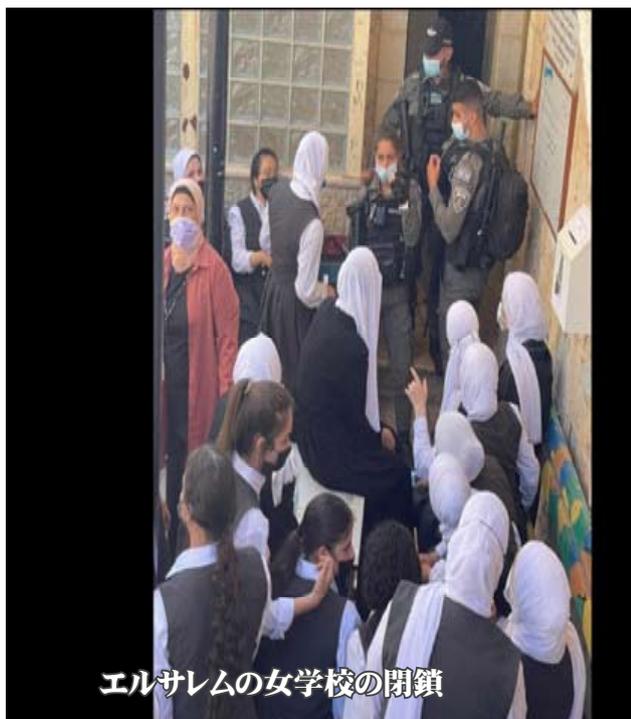
土地を守ることは抵抗闘争である。パレスチナの農民の土地を守る闘い、生活を守る闘いを支援します。集まった基金は、パレスチナ農業労働委員会連合 (UAWC) に送ります。

郵便振替

記号番号: 00960-2-303500
名称: オリーブの会 (オリーブノカイ)

他行等から振り込む場合

店名 (店番): 〇九九店 (099)
預金種目: 当座
口座番号 0303500



エルサレムの女学校の閉鎖



パレスチナの新学期

今号の内容

- タリバンの権力獲得と中東、パレスチナ・・・・・・・・・・1
- タリバンと勢力均衡・・・・・・・・・・2
- カバーを取り去る必要があります・・ 4
- アブアリ殉教20周年・・・・・・・・・・6
- ハマスとタリバン・・・・・・・・・・8
- パレスチナで愛されている歌・・・・・・・・9
- パレスチナの詩・・・・・・・・・・10
- パレスチナ日誌2・・・・・・・・・・11
- その他のトピック・・・・・・・・・・14
- おいしいパレスチナ・・・・・・・・・・15
- トピック・・・・・・・・・・16



ガザ、壁の狙撃用の窓から狙撃手を銃撃



ヤッタでの土地の没収に抗議する座り込み



8月17日 日本の茂木外相は、アッバース大統領と会談していた。丁度そのころカブールは、タリバンの手におち、各国が自国民の脱出に全力を挙げているとき、そのまま外遊をつづけていた。その結果、立ち遅れた日本は、日本人と協力者の救出に失敗した。